

ユニオンファンド 月次レポート

第 200 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2025年7月4日作成

MONTHLY TOPIC

月次レポート 第 200 号によせて

ユニオンファンドの月次レポートがおかげさまで 200 号を迎えました。長きにわたりお読みいただき、本当にありがとうございます。200 号の発行に当たり、改めてこのレポートに込めている想いをお伝えしようと思います。

多くの運用報告レポートは、市場がこう動いたという解説と、これからこうなるだろうといった予想が中心になっているかと思います。当ファンドのレポートで言えば、3 ページ目にあたります。しかし、それだけでは不十分だと考えています。

株価は変動する。ファンドとどう付き合うかが大切

株価は長期的には上昇してきましたが、その間に幾度となく大きな下落にも見舞われました。様々な要因が絡み合って動く株価を常に正しく予想するというのは極めて困難です。予想外の大きな変動は投資家の心を不安にさせ、間違った行動に導きかねません。実際、「損が広がってしまうのではないかと心配になり、本来は買い増しすべき水準で諦めて売却してしまう投資家を数多く見てきました。

そうしたことを避けるためには、株価は長期では上がる可能性が大きいことと同時に、大きく下がることもあるということを知っていただくことが必要です。株価が持つこの二つの側面を折に触れてお伝えすることは、長期保有への自信を深めるとともに、下落局面への耐性作りに役立つのではないかと考えています。

投資の成果は、投資の仕方にも左右されます。世の中のあらゆる商品と同様に、商品の良し悪しはもちろんですが、自分に合っているかどうか大切なポイントです。ゆっくりであっても着実に増やしたい人と、一気に増やしたい人とは、選ぶべき商品や投資方法が異なって当然です。良い商品を選ぶだけでは十分ではありません。良い商品でも投資の仕方を間違えば簡単に損をします。つみたて投資の優れた点に何度も触れてきたのはそのためです。

投資をしてくださっている皆様が不安に駆られているときに、投資を止めることなく続けられるよう、寄り添い励ますことも大切です。市場が大きく変動した時には、その背景や問題の根源をできる限り分かりやすくお伝えすることを心掛けてきました。下落理由がわかれば、多少なりとも心は落ち着くものです。また、それとは反対に、市況が良いために気が大きくなりがちな時には、注意喚起も行ってきました。楽観的になりすぎているときに株価が急落すれば、ショックはより大きくなりかねませんから、それを避けることが目的です。

まだまだ至らぬことも多いですが、少しでも役に立つものをお送りできるよう、これからも努力してまいります。また、これまでとは異なる角度からの情報提供も工夫していきたいと思っています。引き続きお付き合いくださいますようお願いいたします。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2025年6月末現在)

基準価額

39,244 円

純資産総額

145 億 37 百万円

期間別騰落率(%)

1 ヶ月	1.67%
1 年	-1.23%
3 年	33.27%
5 年	71.40%
10 年	73.89%
設定来	292.44%

複利年率(%)

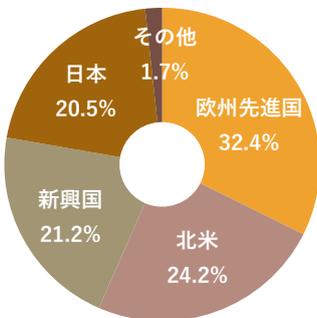
8.53%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

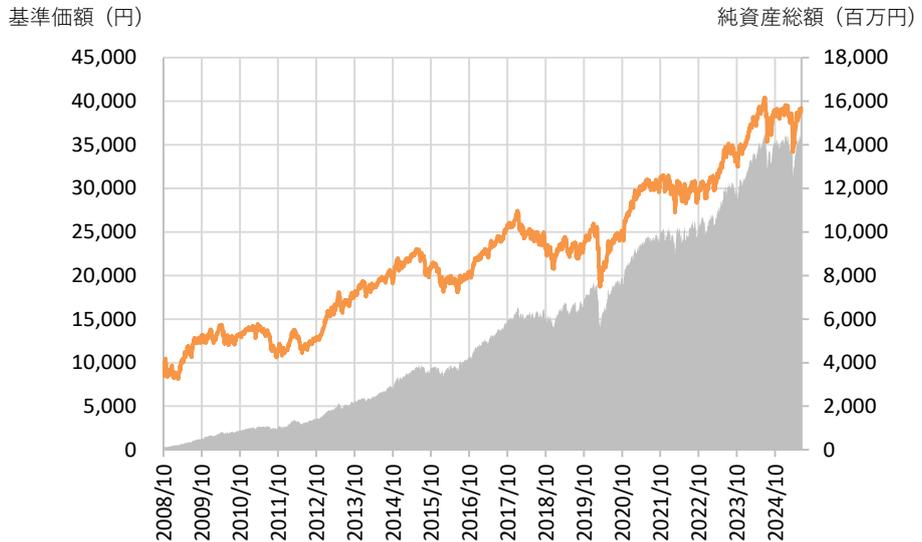
* 設定来、分配の実績はありません。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2025年5月末現在)

基準価額と純資産総額の推移 (設定来、分配の実績はありません。)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.4%	1.0%
スパークス F	日本	12.6%	1.6%
キャピタル F	欧米	20.3%	3.7%
ハリス F	欧米	18.9%	1.8%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	11.3%	-0.4%
コムジェスト・エマージング F	新興国	18.4%	2.5%
現金等	-	14.0%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2025年6月の市場動向と運用状況

投資環境

世界の株価は全般的に好調でした。米国では関税が引き上げられているにもかかわらず、足元の物価が安定していることから、インフレ再燃懸念は薄れ、金融緩和への期待が徐々に高まりました。加えて、AI（人工知能）への期待と足元の業績好調もあって、半導体関連株をはじめ大型ハイテク株が好調で、S&P500とNASDAQの両指数は史上最高値を更新しました。半導体関連株の好調は米国市場にとどまらず、韓国株の大幅高や日経平均株価の好調にもつながりました。

一方、欧州では、DAX（ドイツの代表的株価指数）が製造業の回復期待から高値を更新する場面もありましたが、1~4月に米国株を上回る好調が続いた反動もあって、全体としては若干の下落で終わりました。中国は、株価は堅調でしたが景気は再び鈍化傾向を見せ、住宅価格も下落が再び加速するなど、不透明な状況が続きました。

イスラエルと米国によるイランの核施設への攻撃で、一時原油価格が急伸し、混乱の拡大が警戒されましたが、少なくとも一旦は鎮静化したことから、株式市場への影響は限定的なものにとどまりました。

為替市場では、ドル安ユーロ高がさらに進みました。ECB（欧州中央銀行）の利下げが一服するとの予想が広がった一方、米国の長期金利は反落し、政策金利（FF金利）の引き下げ予想が優勢となったことが背景と見られます。

運用の状況

ユニオンファンドは値上がりしましたが2か月連続で市場より小幅な上昇にとどまりました。組入ファンドの多くが市場に劣後したことなどのためです。売買は見送りました。月末の組入比率は前月とほぼ同水準の86.0%でした。

今後の見通し

堅調な企業業績と、特にAI分野への期待を下支えに、米国株主導で続伸する可能性はあります。ただ、「相互関税」（あるいは「報復関税」）の停止期限切れが迫る中、警戒感がむしろ薄れていることには留意したいと思っています。高関税をかけられる相手国が輸出不振に陥る恐れがあるだけでなく、米国にとっても輸入品価格の上昇によるインフレ率の高まりや、企業のコスト増、消費者の購買力低下などマイナスの影響が間もなく始まるのではないかと予想しています。トランプ政権は4月以降、株式・債券・為替市場が大きく変動すると、政策を後退させてきましたが、足元の市場の安定を受けて、改めて強硬な関税策を遂行する可能性もありそうです。日本に対しては、交渉の打ち切りや関税率の一段の引き上げを示唆しています。引き続き注視する必要があるでしょう。

米国株は史上最高値圏にあり、PERなどバリュエーション指標は株価が再びやや危険な領域に入ってきたことを示唆しています。また、FRB（連邦準備制度理事会）は、関税の影響が出るのはこれからと見ており、いずれ利下げを再開するとしても、当面は物価動向の監視を続け、市場の期待よりも長く金利を据え置く可能性があります。

4月中旬以降の株価反騰は、①米国ハイテク株の業績見通しの回復、②関税引き上げへの不安の後退、③物価安定と長期金利低下を受けた利下げ期待の高まり、などによると思われます。このうち②と③は今後やや揺らぐ可能性があるため、当面はやや慎重な対応が必要ではないかと考えています。

運用責任者 久保田徹郎

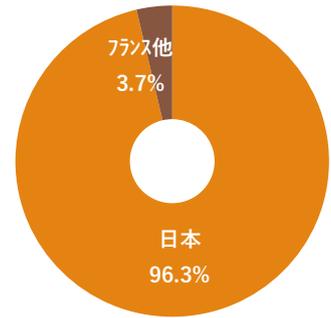
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



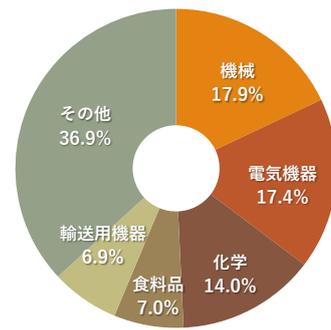
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ディスコ	3.9%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
2 信越化学工業	3.7%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
3 ダイキン工業	2.7%	日本	機械	エアコン世界大手
4 セブン&アイHD	2.5%	日本	小売業	大手総合小売業
5 プリチストーン	2.5%	日本	ゴム製品	夕竹世界大手
6 INPEX	2.4%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
7 アサヒグループHD	2.3%	日本	食料品	大手酒類・飲料メーカー
8 日立製作所	2.0%	日本	電気機器	総合電機世界大手
9 スズキ	2.0%	日本	輸送用機器	自動車、自動二輪車
10 テルモ	2.0%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
上位10銘柄	26.0%		現金等	19.1%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2025年6月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



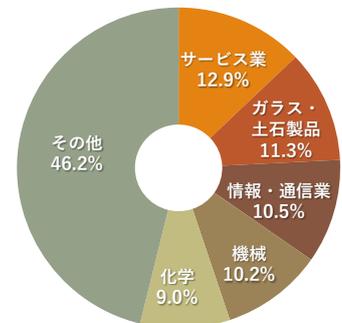
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
メック		日本	化学	電子基板用薬品
横浜ゴム		日本	ゴム製品	大手タイヤメーカー
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、ステーラー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
SBIホールディングス		日本	証券・商品先物取引業	金融持ち株会社
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
共立メンテナンス		日本	サービス業	寮事業・ホテル事業
現金等				3.9%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2025年5月末現在 >

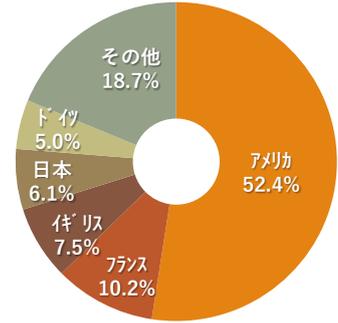
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



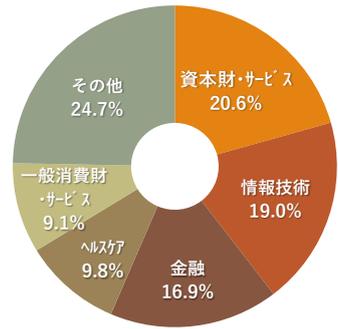
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Broadcom	3.3%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
2 Microsoft	3.0%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
3 Alphabet	2.4%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
4 Safran	2.3%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
5 Apple	2.0%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 JPMorgan Chase	1.9%	アメリカ	金融	世界大手総合金融グループ
7 General Electric	1.9%	アメリカ	資本財・サービス	航空機エンジン
8 TSMC	1.8%	台湾	情報技術	半導体メーカー
9 Rolls-Royce	1.7%	イギリス	資本財・サービス	航空機用エンジン等
10 SAP	1.7%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
上位10銘柄	22.0%	現金等	3.9%	

業種別構成比



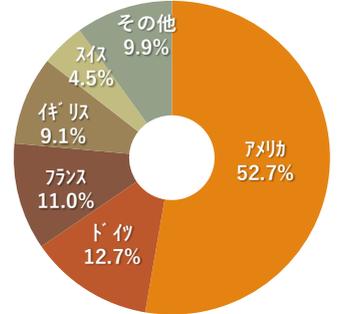
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年5月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 グレンコア	3.2%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
2 アルファベット	3.1%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
3 メルセデス・ベンツ	3.1%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
4 アイキューヴィア	3.0%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
5 ベクトン・ディッキンソン	3.0%	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	医療用品、実験機器、診断機器
6 ケリング	3.0%	フランス	耐久消費財・アパレル	高級ファッション・ブランド 大手
7 BNPパリバ	3.0%	フランス	銀行	フランス大手銀行
8 シスコ	3.0%	アメリカ	生活必需品流通・小売り	大手食品流通会社
9 バイエル	2.8%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
10 CNHインダストリアル	2.8%	イタリア	資本財	農機・建機メーカー
上位10銘柄	30.0%	現金等	4.7%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年5月末現在>

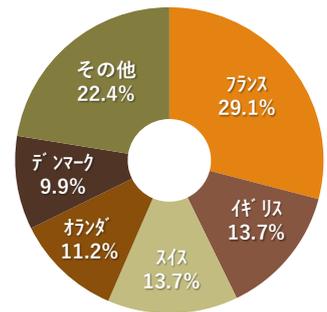
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



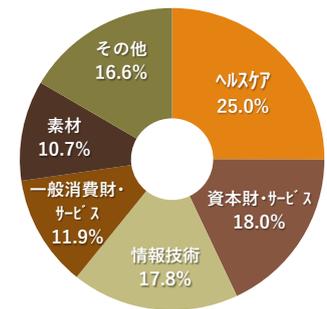
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	5.9%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 SCHNEIDER ELECTRIC	5.4%	フランス	資本財・サービス	電気設備、エネルギー管理
3 AIR LIQUIDE	4.9%	フランス	素材	産業ガス世界大手
4 ALCON	4.5%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
5 ESSILORLUXOTTICA	4.2%	フランス	ヘルスケア	光学製品
6 RELX	4.1%	アイルランド	資本財・サービス	ビジネス顧客向け情報・分析
7 NOVO NORDISK	3.7%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界大手
8 L'OREAL	3.7%	フランス	生活必需品	化粧品世界最大手
9 NOVONIS	3.5%	デンマーク	素材	食品用酵素・微生物等
10 SAP	3.4%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
上位10銘柄	43.3%	現金等	3.0%	

業種別構成比(マザーファンド)



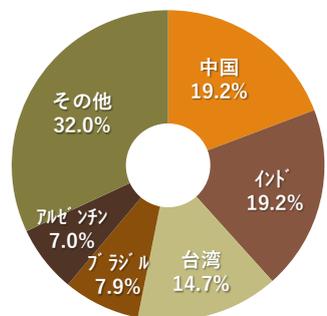
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年6月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



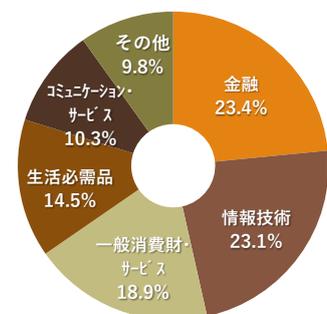
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	9.8%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 TENCENT	6.2%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
3 MERCADOLIBRE	5.6%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
4 DELTA ELECTRONICS	4.1%	台湾	情報技術	電源、変圧器
5 DISCOVERY	3.6%	南アフリカ	金融	南アフリカの保険会社
6 NETEASE	3.5%	中国	コミュニケーション・サービス	オンラインゲーム
7 HDFC BANK	3.1%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
8 ANTA SPORTS	3.1%	中国	一般消費財・サービス	スポーツウェア・シューズ
9 AIA	2.9%	香港	金融	生保・金融サービス
10 SHRIRAM FINANCE	2.9%	インド	金融	自動車など消費者金融サービス
上位10銘柄	44.9%	現金等	5.3%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年6月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

目論見書の改訂について

2025年6月30日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたしました。

詳しくは、前回のレポートおよび弊社ホームページに掲載しております目論見書の最新版をご確認ください。

取引残高報告書について

今回、「2025年4月～6月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
(預り区分)	評価金額	受取金額 [c]		
(決算日)	取得単価	個別元本		

預り区分	課税口座（特定口座または一般口座）、非課税口座（NISA口座（該当預りの適用年））を表示。
数量	預り区分ごとのユニオンファンドの残高口数。
基準価額	作成日（2025年6月30日）現在の基準価額。
評価金額	預り区分ごとの作成日現在の残高の「評価金額」。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）
取得単価	預り区分ごとのこれまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均。 ※ NISA口座は、すべての適用年通算の値（非課税であるため参考の値）です。 ※ 一般口座は、表示されません。
個別元本	全預り区分通算でのこれまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均。

以下[a]、[b]、[c]は、一つの預り区分の欄にまとめて記載（全預り区分通算の値）。

評価金額合計 [a]	評価金額の合計。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出していません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

【NISA口座をご利用のお客様】

取引残高報告書の「お預り証券等の残高明細」の次項で、その年の「非課税限度額」および「作成日現在のご利用額」をご確認いただけます。*

※システムの仕様上、「つみたて投資枠」についても記載されておりますが、弊社では「つみたて投資枠」対象商品の取り扱いはありません。「成長投資枠」のみのご利用となります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。